

こんにちは 90号

発行／2024年1月12日 発行者／特定非営利活動法人 こんにちは・国際交流の会 <http://www.konnichiwa.org/>

国際理解講座 知ることから始めよう！ 沖縄の文化が息づく南米ボリビア！

日時：2023年11月5日(日) 13:30～15:30
場所：鶴見区福祉保健活動拠点 多目的研修室ABC
参加者：38名（一般20名、会員16名、学習者2名）
協力：鶴見区社会福祉協議会 区域連携推進事業補助金事業

ボリビアの魅力について、ボリビア日系2世の喜久山正代さん（元読解B学習者）から紹介していただきました。

前半はボリビアの地理、人口などの基本的な情報から始まり、首都、産業、民族、観光地などの話がありました。多民族国家である為、民族衣装やダンスが多種多様で、当日は喜久山さんがご友人と一緒にダンスを披露され、会場内も盛り上がりを見せました。後半は沖縄からの移民の開拓状況の話で、普通では見ることが出来ない当時の写真なども見せていただきました。大変な苦労の中で念願の道路が完成した写真の説明では、感極まって目頭を押さえる場面もあり、参加者の心を打ちました。

参加者からの感想は「ボリビアについて知ることが出来て大変良かった」「サンタクルスの温泉の川に入つてみたい」などありました。

ボリビア大使館が今回のために日本語に翻訳してくれたパンフレットを参加者に配布することができました。心より感謝いたします。

今後も多くの方々に参加をしていただける様な、「国際理解講座」を続けたいと思っております。

＜藤武守之＞

茶道体験



日時：2023年11月18日(土) 13:00～16:00
場所：馬場花木園
参加者：30名（学習者24名、ボランティア6名）
協力：横浜市立東高等学校 茶道部の皆さん、先生方



当日は天候に恵まれ、学習者と馬場花木園内の散策、古民家見学、そして茶道体験を行いました。

花木園の園長さんや職員の方々も見に来てください、「外国の方が大勢来てくれて嬉しい」と仰っていました。

茶道体験では緊張した面持ちの茶道部の皆さんから、「やさしい日本語と英語」でご指導いただきました。生徒さんがデザインした紅菊をあしらった和菓子の美しさにも感動。その和菓子を切らずに一口に食べようしたり、また苦いと思われた抹茶を美味しそうにいただいたりする学習者さんの様子には、心があたたまる思いでした。

学習者からは、「楽しかった」「静かでいいところ」と満喫しているようでした。



学習者大幅増加の秋学期終了。
(2023年9月8日～11月18日)

春学期同様に、金曜3クラス、土曜5クラスの8クラス体制で秋学期開設。春学期52名だった学習者が1ヶ国82名と、大幅増加の秋学期でした。そのうち半数の41名が中国人で、その次はベトナム人8名、ミャンマー人、ネパール人、インド人各7名と続きます。圧倒的な数が中国人で、土曜日初級Aクラスは10名の学習者の内9名が中国人と、さながら中国の学校のようでした。

冬学期も更に学習者は増えるものと思いますが、残念ながら学習者増に見合ったボランティアの数の確保が出来なくなりつつあります。

当会も来年度設立30年を迎ますが、少子高齢化の影響をまともに受けていて、日本語ボランティアの活動の継続が難しいと言う人達が年々増えてきています。鶴見区の日本語ボランティア数グループで「日本語部会」という組織を設け、毎年日本語ボランティア入門講座を開催してきました。本年も16名の方々が講座に参加し、次の日本語ボランティアとして活躍すべく講座受講しています。この中から一人でも多くの受講者の当会への入会が待たれるところです。来学期は日本文化イベントも企画しており、より一層楽しい日本語教室にしていきたいと、会員一同考えています。

（日本語教室運営委員長 市川了次）

ど よ う し ょ き ゆ う
土曜初級A



ど よ う し ょ き ゆ う
土曜初級B



ど よ う ち ゆ う き ゆ う
土曜中級A



ど よ う ち ゆ う き ゆ う
土曜中級B



ど よ う ど っ か い
土曜読解B



きん よ う し ょ き ゆ う
金曜初級B



きん よ う ち ゆ う き ゆ う
金曜中級A



きん よ う ち ゆ う き ゆ う
金曜中級B



報告

- 11月5日：国際理解講座
- 11月18日：茶道体験
- 11月18日：秋学期報告会
- 12月3日：第4回理事会

予定

- 1月21日：日本文化体験
- 1月28日：第5回理事会
- 2月4日：ボランティア勉強会
- 3月23日：冬学期報告会
- 3月31日：第6回理事会
- 4月21日：第20回通常総会
- 創立30周年記念パーティー

編集後記

日本語の学び方は、このコロナ禍を経てより多様化しましたが、人と人が実際に触れ合いながら行う日本語教室は、リモートやYouTubeで学ぶそれらとは随分と浸透力が異なると実感しております。本年も皆様に是非ご支援賜れますと、大変嬉しく存じます。



編集：柴田麻衣・芝優子・清野律子・山田恵子